

レポートを書こう

調べ方・まとめ方

読んで調べる

- ・ 本や雑誌、新聞、パンフレット、インターネットなどで調べる。
- ・ どこから調べていいかわからなければ、まず百科事典を引いてみる。
- ・ 図書館には、本だけでなく雑誌、新聞、パンフレット、チラシ、ビデオ、DVD などもおいてあるので、レファレンス・サービス(係の人が調べものの相談にのってくれること)を活用するとよい。
- ・ インターネットで調べるときは、複数のホームページを比べたり、発信元を確認したりして情報の信頼性を判断する。

人に聞いて調べる

- ・ インタビュー・・・そのテーマの専門家に質問することでより深い調べ学習になる。メールやファックス、電話でも可能。質問の内容を事前に考えておく。あいさつやお礼を忘れずにする。インタビューした日付も忘れずに記入する。
- ・ アンケート・・・複数の人の意見を知ることができる。あらかじめ知りたい問題について答えを予想して、質問を考える。記述の方法を選択式か記述式か考える。結果は集計し、グラフや表などにわかりやすくまとめる。アンケートをとった日付と対象者を記録する。

自分の目で確かめる

- ・ 実験・観察・・・実験材料や方法はできるだけ詳しく記録しておき、思ったとおりの結果がでなくても事実を記録する。結果は絵やグラフ、写真などでわかりやすくまとめる。
- ・ 見学・・・博物館、美術館、郷土資料館、人物記念館などの学術機関へ行って調べる(学芸員にインタビューができることもある)。水族館、動物園、植物園も博物館に分類される。



上記の方法で調べた結果を取捨選択し、効果的な順番を考えながら、本論をまとめる。

書き方のポイント！

- A4の紙を縦に置き、横書きにする。(国語の場合は、横に置き、縦書きにしてもよい)
- 手書きの場合は、ペンや細マジックなどで書く。
- 一行おきを書く。
- 訂正するときは、2本線で消して書く。(例 鎌倉江戸時代)
- 捏造(でっち上げ)や改ざん(自分の都合のいいように変える)はダメ。
- 全部書き終わったら、ページ数を入れる。

ペンを使うのは、他の人に書きかえられたりしないようにするためだよ！

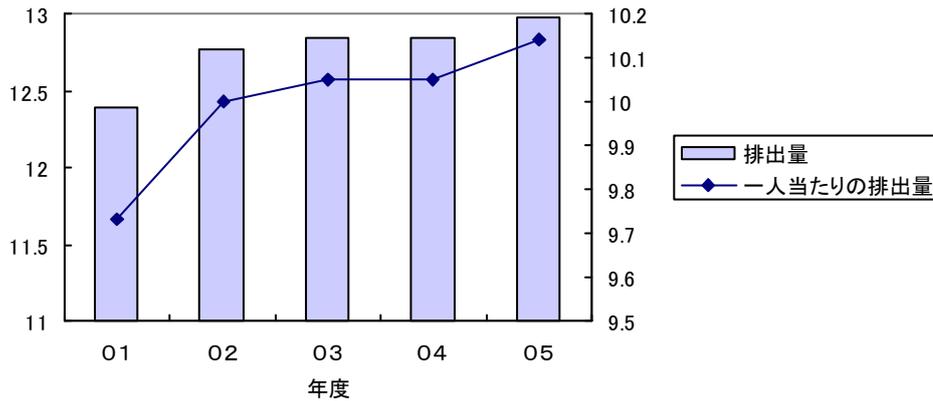
統計グラフの活用

用途、目的に合わせて、グラフを使いわける

- ・ 棒グラフ…棒の長さで数量の大小を比べる。
- ・ 折れ線グラフ…数量の変化の様子を表す。
- ・ 帯グラフ…全体と部分、部分と部分の割合を比べる。
- ・ 円グラフ…それぞれの量が全体の中でどれくらいの割合かを表す。

《棒グラフと折れ線グラフ》

日本の二酸化炭素排出量（単位億t）

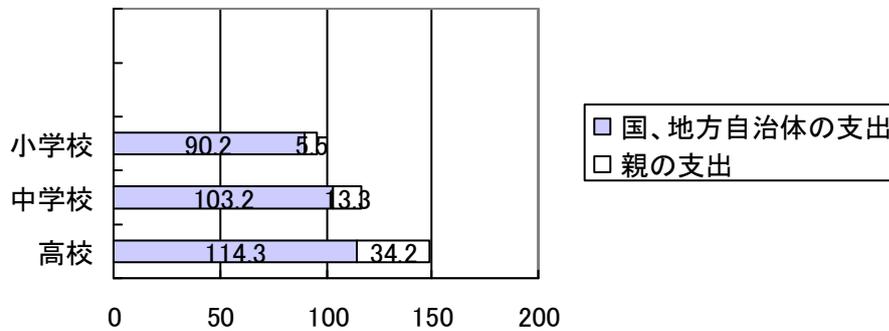


【資料】環境省

《棒グラフと帯グラフ》

公立学校の生徒一人当たりの年間教育費度（単位万円）

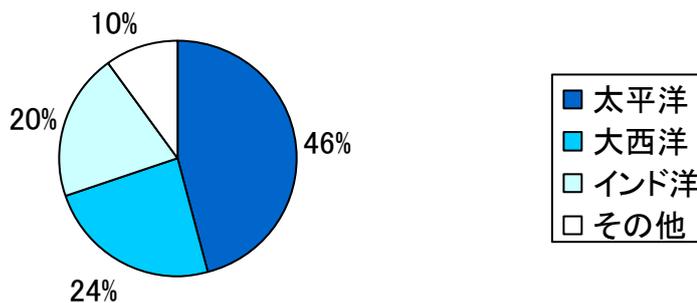
2004年



【資料】文部科学省

《円グラフ》

海の広さ



【資料】理科年表 2007

レポートの書き方(国語・社会)

と
し
る
順
番
↓

① 題名

学校名
学年と名前

- ・グループの場合は、グループ名のあとに、全員の学年と名前を書く。

② 目次

- ・ページ数が確定してから書く。

③ 序論

(はじめに)

- ・何について調べるのかと、それを選んだ動機。
- ・なぜそのテーマを選んだのか、人に伝わるように書く。
- ・仮説が立てられるときは、立てる。

調べてみて、新たな疑問が出てきたら、さらに調べる。
その過程も書こう！

④ 本論

- ・資料をそのまま書き写すのではなく、必要なことだけを自分の言葉で書く。
- ・引用(著作権の頁参照)は最小限に。インターネットのコピー&ペーストはダメ。
- ・絵や写真、グラフなどを入れるとわかりやすい。(写真は撮影した人と撮影日を書く)
- ・統計資料は最新のものを使う。(統計をとった機関も書く)
- ・アンケートをとったときは、その結果、調査した日、アンケート対象者を書く。

⑤ 結論

(おわりに)

- ・調べてわかったことを書く。
- ・仮説を立てたときは、それがどうだったかを書く。
- ・自分の感想を書く。
- ・次に調べたいと思ったことも書いておくとよい。

⑥ 参考資料

- ・参考文献(本)は必ず2冊以上。
- ・どこの資料か書く。(例 宗像市民図書館)
- ・本の最後にある奥付おくづけを見て書く。
- ・『書名』著者名、出版社、出版年、(雑誌は記事のタイトルと巻号も)
- ・インターネットは、サイト名、URL、検索日を書く。
- ・新聞は、新聞名・記事名(または欄の名前)・年月日・朝刊夕刊などの別、版、面、を書く。

レポートの書き方(理科)

と
し
る
順
番
↓

① 題名
学校名
学年と名前

・グループの場合は、グループ名のあとに、全員の学年と名前を書く。

② 目次

・ページ数が確定してから書く。

③ 動機・目的
(序論)

・何について調べるのかと、それを選んだ動機。
・何が疑問なのか、人に伝わるように書く。
・仮説を立てる。

④ 実験・観察
(本論)

・材料(メーカー名、商品名なども書く)。
・方法(他の人が、同じ実験を再現できるように、くわしく書く)
・絵や写真、グラフなどを入れるとわかりやすい。
(写真は撮影した人と撮影日を書く)

⑤ 結果
(本論)

・実験、観察してわかった事実を書く。成功も失敗も。

調べてみて、新たな疑問が
出てきたら、さらに調べる。
その過程も書こう！

⑥ 考察
(結論)

・結果から考えられる自分の意見、感想を書く。
・自分が立てた仮説はどうだったか。
・次に調べたいと思ったことも書いておくとよい。

⑦ 参考資料

・参考文献(本)は必ず2冊以上。
・どこの資料か書く。(例 宗像市民図書館)
・本の最後にある奥付おくづけを見て書く。
・『書名』著者名、出版社、出版年、(雑誌は記事のタイトルと巻号も)
・インターネットは、サイト名、URL、検索日を書く。
・新聞は、新聞名・記事名(または欄の名前)・年月日・朝刊夕刊などの別、版、面を書く。